

ワールドカフェの各テーブルで出されたご意見(広報広聴委員会まとめ)

テーマ:「高齢者の居場所づくりの充実に向けて」(令和元年11月11日 会場: 虎姫まちづくりセンター)

区分	出された意見(課題・解決策・意見が出された経過等を含めて)	意見の取り扱い方法	担当常任委員会
居場所自体の運営に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ●会員やスタッフの中で得意なことを引き出すことが大切。みんながスタッフ ●サロンについて特に男性の参加率が低い ●サロンへの男性参加が少ない→男性が来やすいコンテンツを作る→スタッフに対して社協や市が講習をする。各種団体との連携、担い手の確保 ●男性の参加が少ない(話しをしてもらったり、主役になってもらうこと。男性の得意なことを引き出し、それをきっかけに出てきてもらう。)イベント・グルメクラブ・男性サロン・趣味(男女問わず、麻雀・囲碁・将棋など) ●地域との交流(3世代交流を開催している。カレーライス食事会など) ●男性が少ない。男性の会を作る。男性に頼る。講師をお願いする ●サロンの位置付けについては、自治会との連携を密にして有効なる方策を考えるべきではないかと考えられる ●サロンの今後において、リーダー不足が考えられる。現状においてはリーダーが外の役職を持っておられる状況で後継者問題が考えられる ●男性の参加率を増すにはカラオケと女性スタッフを置くことが良いのではないのか。ちょこっとビジネスで費用が多少かかっても良いのではないのか。(安価な喫茶とスナック) ●福祉目線から離れて、みんなが行く道を自覚する ●参加者を増やしたい。特に男性の参加者が少ない ●スタッフの負担が大きい。くじで当番制で回しているところもある ●買い物支援をしていきたい。おでかけ号の活用推進 ●食事を伴う事業が多い。まかないが大変 ●参加者は女性がほとんどで、男性の参加が少ない。逆に男性が参加されても、少なすぎると、取り組み内容を考えないと、女性陣とうまくやっていけないので運営面で苦勞する。でも、地域が元気になるには、閉じこもりがちな方を始め、色々な多くの方の参加を考えていく必要がある。それが後継者の問題にも繋がっていく。→それぞれに仕事役割を持っていただいて、参加目的が明確になるようにして、男性の方も含め参加者を増やす 	各議員へ情報提供	
	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者の居場所づくりの意義及び参加に向けた啓発活動、更にはサロン等における運営の充実等に向けて、関わり方を分かりやすくすること 	右記委員会へ報告(委員会で討論)	健康福祉常任委員会
他からの支援に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会からの助成金があるところとないところがある ●施設をもっと利用しやすくしてほしい。→自治会館については、自治会役員等との協議をしていく。公的施設の利用料などの配慮・援助をお願いしたい ●送迎に福祉バスを出してほしい ●食品ロスをサロンに持ち込み、経費削減を図る 	各議員へ情報提供	
	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者の外出支援(買い物、行楽)について、福祉施策として市が支援すべき事項を検討すること 	右記委員会へ報告(委員会で討論)	
	<ul style="list-style-type: none"> ●助成金が少ない。助成金を自由に使わせてほしい ●有力な企業に社会貢献として、運営をお願いできないか ●移動販売車の老朽化による修理、交換等の費用がかかるので地域づくりに対する市補助金の拡充を望みたい ●長浜市の補助金手続きが煩わしい→手続きの簡素化 ●いろんな取り組みをしたいが、参加してもらいやすい会費は、月500円が限度と考えている。運営がなかなか厳しく、財政援助もほしい。→会費を必要な分だけいただく。社協を始め公的機関からの援助・助成を増やしてほしい 	右記委員会へ報告(委員会から当局へ申し入れ)	健康福祉常任委員会
その他	<ul style="list-style-type: none"> ●デイサービスが自治会単位のコミュニケーションの場を断ち切る 	各議員へ情報提供	

ワールドカフェの各テーブルで出されたご意見(広報広聴委員会まとめ)

テーマ:「放課後児童クラブの充実に向けて」(令和元年11月15日 会場: 虎姫まちづくりセンター)

区分	出された意見(課題・解決策・意見が出された経過等を含めて)	意見の取り扱い方法	担当常任委員会
人的 (支援員・人材)確保に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ●主婦が働きにくい時間帯のため支援員の確保が難しい。時給をあげることが問題解消の最大のポイントであるが、現実問題として時給を増やすことは経営の圧迫になり、出来ない 	各議員へ情報提供	
	<ul style="list-style-type: none"> ●放課後児童クラブの支援員確保が困難となっており、学生等のアルバイトやボランティアなどの支援も考えられるが、責任や資質としての不安から保護者の理解が得られにくい状況にある。また、発達しょうがいでの対応困難児童が増加傾向にあり、専門のキャリアを有するスタッフも求められている。放課後児童クラブの充実には支援員(専門職を含む)の確保が必要不可欠となっている。 ●保護者ニーズの多様化から、各般にわたる対応が求められており、人的確保と併せて事業運営資金(人件費)が不足している。 	右記委員会へ報告(委員会で討論)	健康福祉常任委員会
	<ul style="list-style-type: none"> ●児童数に見合った支援員の確保がしたい ●発達しょうがいの児童の対応 ●小規模4校の財政は厳しい ●人材確保や対応困難児童対応に人員を増やす必要があるので、補助金の増額を望む ●賃金、時間帯、子どもの対応等への取組みなどへの補助金等の支援について 	右記委員会へ報告(委員会から当局へ申し入れ)	
施設 (スペース)の 確保に 関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ●児童遊び場の確保も大きな課題となっており、学年に合わせた適度な遊びが必要となっている。夏休みにおけるプール利用に当たっては、閉校している学校施設も含め地域バランスの考慮も求められている。 	右記委員会へ報告(委員会で討論)	健康福祉常任委員会
	<ul style="list-style-type: none"> ●閉校した学校の施設(プール、グラウンド)を優先的に利用させてもらいたい 	右記委員会へ報告(委員会から当局へ申し入れ)	総務教育常任委員会
制度 (運営 そのも の)に 関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども達の格差が広がっており、お金がかかってもより良いサービスを求める保護者に対する体制をつくれるようにしていきたい ●保護者の思いは、児童の安全な見守りだけではなく、学習も取り入れてもらいたいと考えている ●地域間格差 保護者の考え方、設置されているクラブの地域実情、旧長浜と郡部では、保護者の思いが違うように見受けられる。郡部では、地域の子どもは地域で見守り育てるとの、基本的な考え方に基づいているが、旧市街地では、クラブが塾化している。保護者もそのように求めている。 ●今後の取組みについて話し合いなど増やす事により、様々な取組み内容へ意欲向上が図れる ●子どもを取り巻く環境整備について ●それぞれのクラブの地域課題等の現状での対応について ●今後の放課後児童クラブ等の居場所づくりの更なる発展に向けた対応について ●民間団体と公共施設の取組みでの交流会、勉強会等で今後の取組みについて話し合いなど増やす事により様々な取組み内容へ意欲向上が図れる 	各議員へ情報提供	
	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもに対する行政所管が、教育委員会と健康福祉部にわかれており、業務上も複雑で窓口も分かりづらくなっていることから、一本化が求められている。 	右記委員会へ報告(委員会で討論)	健康福祉常任委員会